

# 会 報

No. 21

1985年6月

日 本 分 子 生 物 学 会

(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

## 目 次

◆日本分子生物学会第4期評議員選挙結果 .....	1
◆日本分子生物学会評議員会議事要旨 .....	1
◆日本分子生物学会第4期(1985年4月1日～ 1987年3月31日)役員名簿 .....	2
◆「特許庁長官が指定する学術団体」について .....	2
◆第13回 核酸シンポジウム 予告 .....	3
◆1986年 情報学シンポジウム予告 .....	4
◆山田科学振興財団より .....	5
◆BMY分子生物学奨励金候補者の推薦 .....	6
◆日本分子生物学会々員名簿の改訂について .....	6
◆第8回日本分子生物学会年会のお知らせ .....	6
◆学会費納入についてのお願い .....	8
◆日本分子生物学会入会申込みの手順 .....	8

◆日本分子生物学会第4期評議員選挙結果

投票締切日：昭和60年3月16日

開票日：同 3月20日

投票者総数：213名

無効投票：3名

上位20名の当選者（ABC順）は下記の通りである。

藤永 蕙， 飯野 徹雄， 池田日出男， 石浜 明， 松原 謙一，  
三浦謹一郎， 村松 正実， 中西 重忠， 小川 英行， 大石 道夫，  
岡田 吉美， 大島 靖美， 大沢 省三， 小関 治男， 杉浦 昌弘，  
高浪 満， 豊島久真男， 内田 久雄， 吉川 寛， 由良 隆  
以上

選挙管理委員会 志村 令郎， 藤沢 久雄， 永田 俊夫

◆日本分子生物学会評議員会議事要旨

日時：昭和60年4月23日

場所：東京大学医科学研究所会議室

出席者：藤永 蕙，三浦謹一郎，村松正実，小川英行，大石道夫，岡田吉美，  
大島靖美，大沢省三，小関治男，高浪 満，豊島久真男，内田久雄，  
吉川 寛

欠席者：飯野徹雄，池田日出男，石浜 明，松原謙一，中西重忠，杉浦昌弘，  
由良 隆

1. 報告事項

前期内田会長より次の2項につき報告があった。

1. 日本学術会議第13期会員候補者のうち，分子生物学研連に係る会員候補者として，渡辺 格当学会員を，また，同推薦人として，高浪 満，水島昭二両当学会員を，本年2月に日本学術会議に推挙した。
2. 昭和60年1月28日付で，本学会が，特許庁の指定する学術団体として認められた。（詳細については，本会報別項を参照して下さい）。

2. 議 事

(1) 会長選挙

規約にのっとって評議員の互選により内田久雄を第4期（昭和60年4月1日～62年3月31日）会長として選出した。

(2) 選考委員選挙

投票により，次の5名を選考委員として選出した。

石浜 明, 三浦謹一郎, 岡田吉美, 大沢省三, 高浪 満

(3) 幹事の選任

内田会長より集会幹事を杉浦昌弘, 大石道夫兩名に委嘱したい旨発言があり, 承認した。庶務・会計・編集等の幹事および会計監査については人選を会長に一任した。

(4)

- 1) 内田会長より本年度年会の準備状況について報告を受けた。また来年度年会は名古屋地区で開催することとし, 大沢評議員より関連した状況説明を受けた。再来年度については, 東京・大阪地区以外での開催が望ましいという意見があった。
- 2) 会報強化の一環として, 例えば年会での特別講演の内容を掲載することなどが提案され, 前向きに取り組むこととなった。また欧文誌発行については, 引き続き検討することとなった。
- 3) 本会の会員として, 新たに名誉会員をおいてはどうかという提案があり, 会則の変更について村松・大島両氏に検討を依頼することとした。

◆日本分子生物学会第4期(1985年4月1日~1987年3月31日)役員名簿

会 長	内 田 久 雄			
評 議 員	藤 永 蕙	飯 野 徹 雄	○石 浜 明	松 原 謙 一
	○三浦謹一郎	村 松 正 実	中 西 重 忠	小 川 英 行
	○岡 田 吉 美	大 島 靖 美	○大 沢 省 三	小 関 治 男
	○高 浪 満	豊 島 久 真 男	吉 川 寛	由 良 隆
	(○印:選考委員)			

庶務幹事	池 田 日 出 男	
会計幹事	山 本 正 幸	
編集幹事	関 口 睦 夫	
集会幹事	大 石 道 夫	杉 浦 昌 弘
会計監査	斎 藤 日 向	溝 渕 潔

◆「特許庁長官が指定する学術団体」の指定について

本会は, 昭和 60 年 1 月 28 日付で, 特許法第 30 条第 1 項に規定されている標記団体の指定を受けました。この指定によって, 本会(支部を設置したときは, 支部を含む)が開催し又は共催する研究集会(年次大会, 臨時大会, 講演会及びシンポジウム等)で発表された発明(考案も含む)は, 本会が発行する「証明書」を特許庁

長官に提出することにより、発明の新規性は、失われないことになりました。

「証明書」には、本学会名、発表者、発表年月日及び発明内容が明示されていなければなりません。発表内容は「文書」でなければならず、これには、発表に使用したスライドの写し、講演要旨及び研究集会において配布した文書等が含まれます（勿論、いずれについても特許出願した又は出願しようとする発明が記載されていなければなりません）。これら「文書」を発明内容として、証明書に添付します。尚、講演要旨集等の刊行物に記載されている事柄に関しては、本学会会長の証明がなくとも、刊行物の写しのみで、「証明書」として取扱われます。

本会の証明書を必要とする方は、本会宛証明願を提出願います（添付様式案をご参照下さい）。

### 証明書及び証明書の様式例

昭和 年 月 日
証 明 願
日本分子生物学会 会長 内田久雄 殿
（依頼者）住所 氏名 <span style="float: right;">㊟</span>
日本分子生物学会〇〇〇〇において、添付の文書の発表が下記のとおりあったことをご証明下さい。
記
講演日 座 長    〇 〇 〇 〇 演 題 発表者名

昭和 年 月 日
証 明 書
上記のとおり相違ないことを証明します。
日本分子生物学会 座長    〇 〇 〇 〇 <span style="float: right;">㊟</span> 会長    内 田 久 雄 <span style="float: right;">㊟</span>

### ◆第13回 核酸化学シンポジウム

共催 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、高分子学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本分子生物学会、日本分析化学会、有機合成化学協会

日 時 11月6日(水)～8日(金)

会 場 吹田市文化会館中ホール(大阪府吹田市泉町2-29-1)

電話 (06)-384-1231 内線 2777

〔交通〕 阪急電車千里線吹田駅下車すぐ、または国鉄東海道線吹田駅下車徒歩10分。

主 題 核酸および関連物質の有機化学, 物理化学, 分析化学および生化学

発表時間 1 演題につき約15分(質疑応答を含む)。なお講演申込は原則として1 研究グループ1 題とします。

講演申込締切 6月8日(土) 必着

1) 講演題目, 2) 発表者の所属, 氏名(講演者に○印), 3) 連絡先(郵便番号, 住所, 氏名, 電話番号), 4) 200字程度の和文講演要旨, を任意の用紙に記入し, 申込受領通知用ハガキ(返信宛先および演題名を記入のこ)を添えて下記連絡先へお申込み下さい。申込者には講演要旨用の原稿用紙をお送りしますので, 英文要旨(4ページ以内)を作成の上, 下記締切日を厳守してご返送下さい。

なお, 要旨集は“Nucleic Acids Research”の Symposium Series (1985) として出版されますが, 今回はとくに本シンポジウムの創始者池原森男教授(阪大・薬)の退官記念号として発行される予定です。

講演要旨英文原稿締切 7月13日(土) 必着

参加予約申込締切 10月5日(土)

氏名, 所属, 連絡先および懇親会参加の有無を明記の上, 郵便振替では「大阪8-18017番, 第13回 核酸化学シンポジウム」宛または現金書留では下記連絡先宛にご送金下さい。

参加費 (当日渡しの要旨集代金を含む) 予約 4,500 円 当日 5,000 円。

懇親会 11月6日(水) 17時30分から 吹田市文化会館レセプションホールで, 会費は5,000円。

連絡先 〒565 吹田市山田丘1-6 大阪大学薬学部薬品物理化学教室 富田研一 (または藤井 敏)(電話 (06)-877-5111 内線 6211, 6212, 6213)

## ◆ 1986年情報学シンポジウム

目 的 科学における情報は文献, 事象データの全てを対象として広範かつ大量に生産され, 利用されている。1984年および1985年の情報学シンポジウムの継続を計りたいとの要請に応えるとともに情報学の基本問題と, データの蓄積, 流通, 高度利用に関する討議と研究交流の場として1986年情報学シンポジウムを開催する。

内 容 上記目的に則して以下の項目を重点的に取り上げる。

データ収集(ソース, 方法, 評価等)

データ表現(識別, 同定, 記述形式, 分類等)

データ標準化(用語, 命名法, 規格, 単位等)

データ管理システム(DBMS, データ副言語, シソーラス, DD/D等)

データ検索(アクセス法, 評価, 問合せ言語等)

データ構造(データモデル, 理論等)

データ利用技術(グラフィックス, データ処理言語等)

データ高次処理(知識処理, 専用システム等)

分野別応用(専門別応用, 多分野間応用等)

データ流通(分散システム, 通信, 多言語変換等)

主 催 日本学術会議 情報学研究連絡委員会  
 日 時 1986年1月8日(水)～9日(木) 9:30～17:00  
 場 所 日本学術会議講堂  
 参加申込み 氏名、連絡先、職名、資料必要の有無を葉書に記入し下記に申し込む。(当日受けもあ  
 るが資料不足の際は事前登録者を優先にする。)  
 講演申込方法 葉書に題目、プログラム編成に必要な補足説明、氏名、連絡先、職名を記入  
 講演申込締切 昭和60年9月21日(土)  
 要旨記入方法 オフセット原稿用紙B4(記入枠A4)、2枚に題目、著者、所属要旨を記載する。  
 プログラム委員会の審査により不採用の場合は早急に通知する。  
 要旨締切 昭和60年11月20日(水)  
 宛 先 〒108 東京都港区六本木7-22-34  
 日本学術会議事務局学術課総括係  
 電話 03-403-6291(代)

◆山田科学振興財団より

昭和60年4月  
 申込要領等改訂のお知らせ

財団法人 山田科学振興財団  
 理事長 永宮健夫

この度、次記のように、来日、派遣、集会の援助申込要領を改訂いたしましたので、よろしくご査収  
 の程お願い申し上げます。

記

来日援助申込要領 1部  
 派遣援助申込要領 1部  
 学術交流集会援助申込要領 1部

援 助 名	募 集 開 始	締 切 日
来 日 (61年4月～62年3月分)	60年4月1日	60年11月30日
長 期 間 派 遣 (61年4月～62年3月分)	60年4月1日	60年11月30日
短 期 間 派 遣	出発月の4カ月前の15日が締切 (例：60年10月出発の場合60年6月15日が締切日)	
学 術 交 流 集 会 (61年4月～62年3月分)	60年4月1日	60年9月30日

追 記

研究援助について

研究援助候補推薦要領及び推薦書用紙は60年9月頃お届けします。

募集開始 60年9月 締切日 61年3月31日

◆ BMV 分子生物学奨励金候補者の推薦

上記につき、当学会選考委員（第3期）による選考の結果

大阪大学微生物病研究所 牧野耕三氏

“大腸菌のリン酸レギュロンの発現調節機構”

を推薦致しました。

◆ 日本分子生物学会々員名簿の改訂について

昭和59年12月15日現在で、会員名簿を発行いたしました。会員事務移行の時期でもあり、誤りが散見されます。従って、第8回年会を機会に会員名簿を再発行する予定です。名簿の記載を訂正されたい方は、お手数乍ら、事項を葉書により(財)日本学会センター、日本分子生物学会係までご連絡下さい。

◆ 第8回 日本分子生物学会年会のお知らせ

第8回年会を、1985年12月2日(月)～5日(木)の4日間、京王プラザホテル(東京・新宿)で行います。スケジュールについては、後日(10月下旬予定)お送りするプログラムでお知らせします。

特別講演は、Thomas R. Cech 教授(University of Colorado, Boulder)と沼正作教授(京大・医)を予定しております。演題は未定です。

準備委員会の構成は下記の通りです。

堀田凱樹(連絡中)、飯野徹雄、井川洋二、上代淑人、三浦謹一郎、村松正実、大石道夫、岡田吉美、斉藤日向、杉村隆、豊島久真男、内田久雄(委員長)

講演の申込み

1. 一般講演の演者は、本年度会費既納の本学会会員に限り、1人1題とします。尚、他の講演の連名者となることは差しつかえありません。(会費納入あるいは入会の手続きについては、本会報“昭和60年度会費納入についてのお願い”を御覧下さい。
2. 一般講演の申込みは、同封の用紙に必要事項を記入し、書留便で年会係までお送り下さい。尚、プログラム編成について、ご希望があれば、“プログラム編集用カード”上欄外にお書き下さい。但し、ご希望にそえないこともあります。

締切日 1985年8月20日(火) (必着)

〒113 東京都文京区本郷2-40-14 山崎ビル内  
(財)日本学会事務センター内  
第8回 日本分子生物学会年会係  
電話 (03) 817-5831

3. 演者の本年度会費納入を確認するために、申込書の所定の欄に、会費払込みの際、郵便局が発行する領収書のコピーを貼付して下さい。

領収書を紛失された方は同欄にその旨御記入下さい。

会費未納の場合は、申込みを受理致しませんので御注意下さい。

4. 演題受領書は、申込用紙到着後、演者の本年度会費納入を確認の上、返送致します。発表の日時についての通知は、会員の方に発送されるプログラムをもって代えさせていただきます。演題は申込みの形式および内容に関して不備、あるいは不相当と考えられる場合、不採用のこともありますので御承知下さい。
5. 一般講演の時間は、15分（講演12分、討論3分）の予定です。スライドは35%判10枚以内とします。会場は5会場の予定です。なお、応募演題数によっては、講演時間を変更することがありますので御了承下さい。

#### 参加申込み及び参加費

1. 年会参加費は5,000円（但し、学生4,000円）です。これには講演要旨集の代金が含まれています。なお、要旨集のみ希望の方には、会員1,500円（但し、会員一人につき一部のみ）、非会員3,000円でお送りします。
2. 本年度は懇親会を12月4日夕刻に京王プラザホテル、エミネンスホールにおいて予定しております。懇親会費は3,500円です。奮ってご参加下さい。
3. 年会参加費、要旨集代金、懇親会費の払込みには、同封の振替用紙を御利用下さい。

同封の用紙を使用されない場合には、必ず通信欄に、第8回日本分子生物学会と記入の上、送金のうちわけ、住所・氏名を御記入の上、下記の郵便振替口座へ御送金下さい。

口座番号 東京9-66455

加入者名 (財) 日本学会事務センター  
学術講演会係

整理の都合上、申込者1人につき1枚の振替用紙を御使用下さい。

4. 10月20日までに参加費を払い込まれた方には、年会前に講演要旨集を郵送致します。10月21日以降に払い込まれた場合には、年会会場にて要旨集をお渡しすることになりますので御注意下さい。
5. 参加費払込みの領収書は、原則としてお送り致しませんので御了承下さい。念のため、郵便局の領収書を保管しておいて下さい。
6. 当日申し込まれる方は、会場受付で参加費をお払い下さい。
7. 京王プラザ・ホテルに年会期間中の宿泊を希望される方は、「分子生物学会宿

泊」として、同ホテル営業推進部（電話：（03）344-0258）へ直接お申込み下さい。尚、割引料金については目下交渉中です。

#### 8. 第8回年会に関する問い合わせ先

本年の年会運営は下記で担当します。この年会についての御意見は下記宛お願い致します。

（財）日本学会事務センター内

第8回日本分子生物学会年会係

#### ◆学会費納入についてのお願い

1. 昭和60年度分および未納分の学会費を同封の請求書（郵便振替用紙）により納入して下さい。なお、学生会費を納入される方は、細則第2条により、在学証明書を日本学会事務センターに提出して下さい。

記

正会員学会費            2,500 円

（但し、在学証明書を提出したときは2,000円）

本学会費の納入に際しては年会参加費と混同しない様お願いします。

2. 年会講演申込みには、学会費納入控（または領収書）のコピーを添付することが必要です。講演を希望される方は、学会費納入控（または領収書）を保管しておいて下さい。

#### ◆日本分子生物学会入会申込みの手順

日本分子生物学会に入会を希望なさる方は、書面又は電話によりお申し込み下さい。所定の書式をお送り致します。

〒113 東京都文京区弥生2-4-16

（財）日本学会事務センター

日本分子生物学会係

電話 （03）817-5801

分 類

<u>対象別項目</u>	<u>内容別項目</u>
1. 真核生物・細胞	A 遺伝子の構造
2. 原核生物・細胞	B 遺伝子の複製
3. 腫瘍ウイルス	C 遺伝情報の転写
4. DNAウイルス・ファージ	D 遺伝情報の翻訳
5. RNAウイルス・ファージ	E プロセッシング・修飾
6. プラスミド	F 核酸化学
7. トランスポゾン・IS	G 変異・障害と修復
8. 染色体・クロマチン	H 組換え機構
9. mRNA・hr RNA	I 形質転換
10. tRNA	J 遺伝解析
11. 低分子RNA	K 高次構造
12. リボソーム	L 分子集合・形態形成
13. 構造蛋白質	M 細胞周期・分裂
14. 制御蛋白質	N 発生・分化
15. 酵素	O 運動
16. 細胞膜	P 神経
17. 受容体・生理活性物質	Q 免疫
18. オルガネラ	R 老化
19. インターフェロン	S 進化
20. ホルモン・成長因子	T 癌化とトランスホーメーション
21. その他	U 遺伝子工学
	V 細胞工学
	W その他

記入上の注意

1. この用紙は、切り離さずに、郵送して下さい。
2. 受付番号、演題番号等※印の項には記入不要です。
3. 要旨はオフセット印刷にしますので、まず目いっぱい黒インクで書いて下さい。「演題」「氏名所属」という青字の上に重ねて書き始めて下さい。演者の前には、○印を付して下さい。所属は略称を用いて下さい（略称は前年度プログラム参照）。
4. プログラム編集用カードにしたがって、プログラムを編集印刷します。「演題」「氏名所属」を要旨と全く同じに記入して下さい。なお、同一研究グループで複数の関連演題を発表する場合、特に希望があれば希望発表順序を別紙に書き、同封して下さい。
5. 人名索引編集用カードには、演者及び連名の方を、1枠に1人ずつ、すべて記入して下さい。
6. 講演申込書には、「演題」「氏名所属」と共に、連絡者1名の氏名・住所・電話番号を記入して下さい。
7. 発表内容について、対象別分類から1項目、内容別分類から第1希望、第2希望の2項目を選び、番号およびアルファベットで記入して下さい。「その他」の場合、希望項目を記入して下さい。プログラム編成とセッション設定の参考資料と致します。分類と項目番号は別紙に掲載してあります。
8. 演者の本年度会費払込領収書（郵便局発行のもの）のコピーを所定の欄に貼付して下さい。領収書を紛失された方は同欄にその旨御記入下さい。
9. 受領書には、「演題」と共に、裏面に宛名を記入し、40円切手を貼って下さい。

〒113  
東京都文京区弥生2-4-16  
財団法人日本学会事務センター内  
第8回日本分子生物学会年会係

40円切手を  
はってください。

殿

郵便はがき  
□ □ □ □ □ □

## 第8回 日本分子生物学会年会一般講演申込書

講演 申込	演題番号※ _____		受付番号※ _____	
	対象別分類 _____	内容別分類の第1希望 _____	同第2希望 _____	
	演 題			
	氏名(所属)			
	連絡者			
住 所				
電話番号	市外局番	局番	番号	内線

備考 講演者の前に○印を付して下さい。プログラム原稿となりますので連名の方すべて記入して下さい。講演申込欄の所属は略号を用いて下さい。

ここに、演者の本年度会費の払込の領収書のコピーを貼付して下さい。

### 受 取 書

受付番号※ \_\_\_\_\_

受付年月日※ 1985 年 月 日

演 題

上記演題は発表要旨とともに受取りました。

発表の日時は後日お送りするプログラムによって御承知下さい。

東京都文京区弥生 2-4-16  
財団法人日本学会事務センター内  
第8回 日本分子生物学会年会係

記入に際して申込書裏面の注意をお読み下さい。

### プログラム編集用カード

演題番号※

受付番号※

対象別分類

内容別分類の第1希望

同第2希望

演 題

氏名所属

### 人名索引編集用カード

受付番号※

	氏 名		演 題 番 号※
	漢 字	ひ ら が な	
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

